

地方自治法施行60周年記念貨幣(愛知県)の表面図柄の説明

千円銀貨幣(表面)(1.5倍/原寸)

きんしゃち あつみ
『金鯪とカキツバタと渥美半島』



名古屋城天守閣の金鯪(雌)と愛知県の県花であるカキツバタを渥美半島(恋路ヶ浜)とともにデザインしています。

名古屋城天守閣の金鯪

名古屋城は、西暦1610年に築城が開始され、天守閣に金鯪(雌雄一対)が飾られた。昭和20年に戦災で焼失したが、昭和34年に天守閣とともに金鯪も復元された。

カキツバタ

アヤメ科の多年草。小堤西池のカキツバタ群落(愛知県刈谷市)は、日本三大カキツバタ自生地のひとつと言われ、国の天然記念物にも指定されている。

渥美半島

県の太平洋沿岸に伸びる半島で、半島先端に程近い恋路ヶ浜は約1Kmの美しい砂浜。また、太平洋側の表浜海岸一帯は、環境省版レッドリスト(絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト)において「絶滅危惧」の種に掲げられているアカウミガメの産卵地となっている。

五百円バイカラー・クラッド貨幣(表面)(2倍/原寸)

『愛知県庁本庁舎とカキツバタ』



愛知県庁本庁舎と愛知県の県花であるカキツバタをデザインしています。

愛知県庁本庁舎

昭和13年に完成。近代的な建築に城郭風の屋根を載せた特異な意匠である「帝冠様式」の代表的建造物。独特の景観などから広く人々に親しまれており、国の登録有形文化財(建造物)にもなっている。

(愛知県資料より)